

「あいち生物多様性戦略 2020」に係る平成 28 年度の主な取組状況について

1 「生物多様性地域戦略セミナー」の開催（平成 28 年 9 月）

県内市町村へ地域戦略の策定を促進するため、戦略策定の重要性、策定手法及び先進自治体の事例等について学ぶセミナーを開催し、県全体のレベルアップを図る。

○生物多様性地域戦略セミナーの概要

日 時：平成 28 年 9 月 28 日（水） 13：15～16：30

場 所：愛知県自治研修所 8階 講堂（名古屋市）

対象者：市町村担当者、大学、企業、NPO、地域戦略策定に関わる団体（各地域の生態系ネットワーク協議会）等（77 名が出席）

○内容：地域戦略の策定動向について：環境省

生物多様性 2050 なごや戦略について：名古屋市

地域戦略の重要性について：三菱UFJ リサーチ&コンサルティング

日本福祉大学 福田教授、中部大学 南教授、愛知県による対談

（コーディネーター：三菱UFJ リサーチ&コンサルティング）等

<来年度の取組>

来年度は、モデル的にアドバイザーを派遣する等により、市町村の具体的な地域戦略策定の課程に踏み込んだフォローアップを行うことで、県全体のレベルアップを図る予定。

2 「生物多様性域外代償制度課題調査事業」の実施（平成 28 年 10 月～）

域外代償を促進するための仕組みづくりを目指し、本年度「生物多様性域外代償制度課題調査事業」を実施。

○ 域外代償の普及を目指して、本年度、欧米の制度を調査・分析し、本県における促進の仕組みづくりに向けた課題を洗い出す。

○ 自然の点数化手法については、本年度、本県が行っている「海上の森のギフトの保全活動」を対象として点数化を行い、課題を検証。

○ 検討には、バンキングといった極めて専門的な知見を必要とすることから、「あいちミティゲーション検討会」委員から専門家を 5 名選出し、平成 28 年 10 月より「生物多様性バンキング検討チーム」により検討。

あいちミティゲーション検討会（生物多様性バンキング検討チーム：敬称略）

近藤 重敏 株式会社三井住友銀行名古屋法人ソリューションセンター長・法人戦略部部长

○田中 章 東京都市大学教授

増田 理子 名古屋工業大学教授

松本 哲男 名古屋大学名誉教授

南 基泰 中部大学教授

<来年度の取組>

来年度以降におけるバンキングの制度化検討は、ステップⅠとして、到達見込みがあり、かつ、それ自体で代償促進の機能を果たしうる「骨組み」を構築する。続いて、ステップⅡとして、残された課題を検証し、バンキングの制度化の可能性を整理する。

3 「尾張西部生態系ネットワーク協議会」の設立（平成 28 年 11 月）

尾張西部地域における生態系ネットワークの形成を図るため、地域の大学、NPO、企業、行政等により、平成 28 年 11 月 22 日に「尾張西部生態系ネットワーク協議会」を設立。

この協議会の設立により、「あいち生物多様性戦略 2020」で掲げた県内 9 つの協議会が全て設立された。

<尾張西部生態系ネットワーク協議会の概要>

(1) 対象エリア：尾張西部地域

名古屋市（北区・西区・中川区・中川区・港区）、一宮市、津島市、江南市、稲沢市、岩倉市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、西春日井郡豊山町、丹羽郡大口町、丹羽郡扶桑町、海部郡大治町、海部郡蟹江町、海部郡飛鳥村の 17 市町村からなる地域。

(2) 参加団体

45 団体（学術関係：2 団体、NPO 等：14 団体、企業等：11 団体、行政：18 団体）

(3) 活動テーマ

「サギやケリの舞う生命(いのち)豊かな尾張平野をめざして」

4 「生物多様性条約第13回締約国会議（COP13）」における取組（平成28年12月）

平成28年12月にメキシコ・カンクンで開催されたCOP13において、生物多様性保全に先進的に取り組む世界のサブナショナル政府（州・県レベルの広域自治体）*とともに、世界の生物多様性保全の活性化を呼びかける共同声明の採択・発表、フォーラムを開催。

※ 平成28年8月に愛知県が呼びかけて、世界の6つの先進サブナショナル政府（州・県レベルの広域自治体）により「愛知目標達成に向けた国際先進広域自治体連合」を設立。COP13に向けた共同の取組について、今まで5回のウェブ会議等で議論。

(1) 渡航期間

平成28年12月9日（金）から12月14日（水）まで

(2) 大村知事が出席した主な行事

・連合「共同声明」採択会議

連合の構成メンバーにより、「共同声明」の採択を行う。

・国際自治体会議

COP13の会議の一つである「国際自治体会議」において、大村知事が連合の「共同声明」を発表。

・連合フォーラム（COP13サイドイベント）

連合の最初の取組として、「愛知目標達成に向けたサブナショナル政府の貢献」をテーマに、締約国や世界のサブナショナル政府、国際機関等に向けてフォーラムを実施。

主催：連合

スピーカー：連合メンバー、オブザーバー、環境省等

<愛知目標達成に向けた国際先進広域自治体連合>

[設 立] 平成28年8月2日（火）

[目 的]

生物多様性分野における交流・連携を図ることで、相互に触発し合って取組のさらなる強化を目指す。連合のリーダーシップにより、世界各地域のサブナショナル政府に対し、取組の活性化を促す。

[構成メンバー]

愛知県（日本）、メキシコ州政府連合*¹（メキシコ）、カタルーニャ州（スペイン）、オンタリオ州（カナダ）、ケベック州（カナダ）、サンパウロ州（ブラジル）

[オブザーバー]

生物多様性条約事務局、nrg4SD*²（持続可能な発展のための地方政府ネットワーク）、イクレイ*³、CONABIO*⁴（メキシコ生物多様性国家委員会）

※1 メキシコ国内の全32州が参加する組織

※2 ベルギーに本部を置く、持続可能な発展に関するサブナショナル政府の連携組織。構成メンバーは30カ国の57団体

※3 ドイツに本部を置く、環境保全に関する都市やサブナショナル政府の連携組織。構成メンバーは85カ国の1,000以上の団体

※4 COP13における国際自治体会議の主催者（国際自治体会議は通常地元自治体が主催）であり、生物多様性の普及・促進を行うメキシコ政府の機関

5 「あいち生態系ネットワークフォーラム」の開催（平成29年1月）

平成28年11月に9番目となる尾張西部ネットワーク協議会が設立されたことを受け、9協議会の関係者が一堂に会し、それぞれの取組成果や課題を共有し、協議会間の連携強化を図るとともに、広く県民に協議会の取組を知っていただくため、「あいち生態系ネットワークフォーラム」を開催。

(1) 日時

平成29年1月28日（土）12:00～16:20

(2) 会場

愛知芸術文化センター 12階 アートスペースA、E・F

(3) 内容

・基調講演

涌井 史郎（中部大学客員教授、西三河生態系ネットワーク協議会会長）
「持続可能な世界に向けた愛知の役割」

・9協議会長等によるパネルディスカッション

テーマ：「地域づくりと生物多様性」、「人づくりと生物多様性」

・活動団体のポスターセッション、9協議会のパネルの展示

<来年度の取組>

・学識経験者による講演や9協議会の代表的な取組事例を発表することにより、効果的なノウハウの共有化を図り、各協議会や地域活動団体等の活動を活性化・質の向上を目指す。

・目標達成年次に向けて、生態系ネットワーク形成の成果のとりまとめができるよう、協議会活動にも資する県民参加型の評価手法（生物調査指標種検討）を確立する。